

カーボンニュートラル

「カーボンニュートラル」とは、大気中に排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの量から、森林などが吸収する二酸化炭素などの温室効果ガスの量を差し引いて、全体で実質ゼロにすることで、「カーボンニュートラル」の「カーボン」は、二酸化炭素（CO₂）の炭素（Carbon）の意味です。

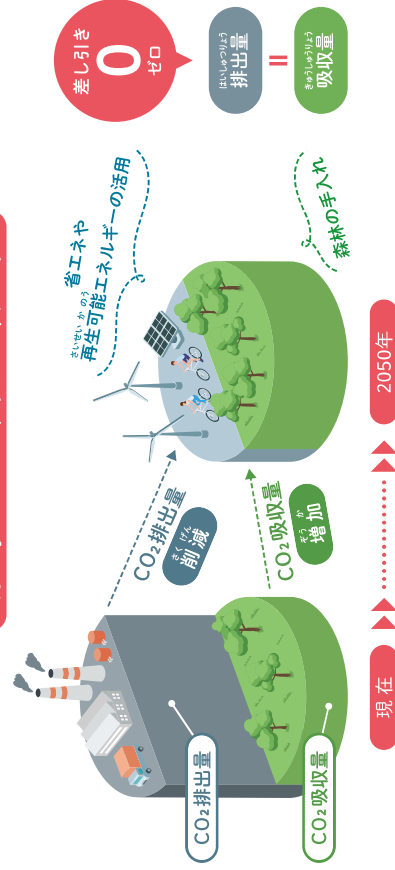
山形県の取り組み

山形県では、2050（令和32）年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を令和2年8月に宣言しました。また、令和5年3月には「山形県脱炭素社会づくり条例」を制定し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて県や県民などが果たしていくべき役割を示しました。

森林の大切さ

森林の成長を促すことは、より多くの二酸化炭素を吸収することにもつながるの
で、地球温暖化防止対策の一つとしても、森林は大切な存在なのです。
二酸化炭素を適切に吸収するのは、管理されて手入れが行き届いた森林と、収穫
したあとに再び植えられた森林とされています。

カーボンニュートラルのイメージ



森林がかかえる課題

人々の生活が便利になった1960年代から、燃料がまきや炭から石油・ガス・電気に変わり、まきや炭を生産してきた森林は利用されなくなり、また、外国から安い木材が大量に輸入されるようになったため、国内産の木材を使う機会が減り、伐採が進まなくなりました。さらに、森林周辺の地域から、生活が便利な都市部へ移り住む人が増えたことにより、森林を手入れする人が減ってしまいました。



健全なクロマツ林



松くい虫の被害を受けたクロマツ林



手入れの行き届いたスギ林



手入れ不足で雪折れしたスギ林

林業や森林の問題点について考えよう！

- ・地域にいるおじいちゃん、おばあちゃんが小さかった頃の生活について聞いてみよう。
- ・森林の手入れをしないと起きる問題について調べてみよう。